



障害のある方々と共にふるさとで明るく楽しく過ごす

■ 団体名・氏名

オッカリーナあっぷる

■ 基本データ

継続年数	10年間
主な連携先	あっぷるハウス久万、久万高原町教育委員会 等
団体の規模等	25名

対象	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	重度重複
活動分野	学習	文化芸術	スポーツ	情報保障	普及啓発	その他

活動の概要

障害のある方とない方がオカリナ演奏を通じてコミュニケーションをはかり、ともにふるさとで、明るく楽しく過ごすことを目標に日々取り組んでいます。月2回定期練習を実施しており、障害のある方も一緒に取り組めるよう工夫をこらした練習方法を用いています。

■ 活動内容

オッカリーナあっぷるでは、障害のある方とない方がオカリナ演奏を通じてコミュニケーションをはかり、ともにふるさとで、明るく楽しく過ごすことを目標に日々取り組んでいます。オカリナを手にすることが初めての方がほとんどでしたので、小学生向けの曲からのスタートでしたが、現在では50曲演奏できるようになっております。

活動を重ねることで、町内外を問わず各種イベントや介護施設での訪問演奏等に呼んでいただけるようになり、令和5年11月28日（土）に開催されます愛媛県精神保健福祉大会で40回目の舞台発表となります。毎年多くの舞台発表の機会があり、演奏に自信が持てるようになりました。

練習は月2回実施しており（出演依頼のある際は回数を増やして実施）、障害のある方に配慮した練習方法やティータイムの時間を設けるなど明るい雰囲気づくりにつとめています。



写真1 演奏の様子

■ 活動の経緯・体制

えひめオカリナ協会より、オカリナの音色は久万高原町に合った優しい音色であり、高齢者になっても手軽に演奏することができるとお話いただき、精神保健ボランティアグループ「ゆきんこ」会員が平成25年4月に本グループを発足させました。現在は「ゆきんこ」会員14名、福祉事業所職員3名、障害のある方8名の計25名体制で活動に取り組んでいます。

■ 活動の工夫・成果

視覚障害の方には、楽譜の階名を録音して自宅等でも練習できるようにしています。また、楽譜を読めない方にはカナ付けをして階名練習をしたり、オカリナの指使いを図示したりして、演奏に取り組めるよう工夫しています。練習の合間には、ティータイムを設けることで障害のある方と健常者が心おきなく会話しており和気あいあいとした楽しい雰囲気で活動できています。



写真2 日頃の練習風景